

まちづくりに関する 市民アンケート結果報告書

平成26年5月

瑞穂市

目 次

1. 調査の概要	1
(1) 調査目的 (2) 調査対象及び調査方法 (3) 回収結果 (4) 調査結果の表記等	
2. 回答者の属性	2
(1) 性別 (2) 年齢 (3) 居住地域 (4) 職業 (5) 家族構成	
3. 調査結果	5
I 瑞穂市のイメージについて	6
II 瑞穂市の将来像について	9
III まちづくりの課題・問題について	11
IV まちづくりへの参画方法について	14
V 今後重点的に行うべき取り組みについて	16
今後重点的に行うべき取り組みについて（その他自由意見）	
○ 公園、道路、病院などインフラ整備等に関する意見	
○ 駅や駅周辺、バス等に関する意見	
○ 企業誘致等に関する意見	
○ 下水道整備等に関する意見	
○ ごみ、野焼きなど環境等に関する意見	
○ 保育・子育て支援などに関する意見	
○ 災害・防災等に関する意見	
○ まちづくり・地域・コミュニティなどに関する意見	
4. アンケート調査票	28

1. 調査の概要

(1) 調査目的

まちづくり基本条例が平成24年4月1日施行され、市民参画、市民協働のまちづくりを推進していくために必要となる共通の目的を模索するため、市民が将来求めるものや、どのように市政に関わっていくかなどの調査を行い、その結果を分析し、将来のまちづくりに活用するもの。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調査対象	市内に居住する満20歳以上75歳以下の者
配布数	2,000（男女各1,000人）
抽出法	年齢層別無作為抽出方法
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成25年12月

(3) 回収結果

発送数	宛先不明	有効発送数	有効回答件数	有効回答率
2,000	13	1,987	754	37.9%

(4) 調査結果の表記等

① 比率は百分率（%）で表し、少数点以下第2位を四捨五入し算出しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。

② 比率は、原則としてその設問の回答者数（無回答を含む）を母数として算出しています。クロス集計に関しては、分類別の回答者数を母数としています。

③ 図表中の表記については以下のとおりです。

n	回答者数及び回答数
(SA)	単一回答
(MA)	複数回答

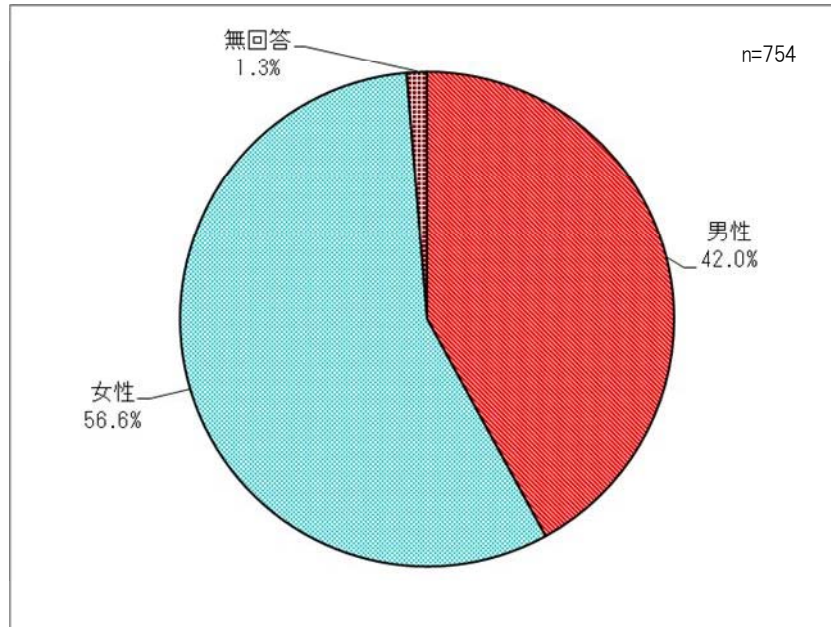
④ 1人の回答者が2つ以上回答（複数回答）しているものは、合計が100%を超える場合があります。

⑤ 各設問の解説は、「性別」「年代別」等のクロス集計の結果に基づいています。

2. 回答者の属性

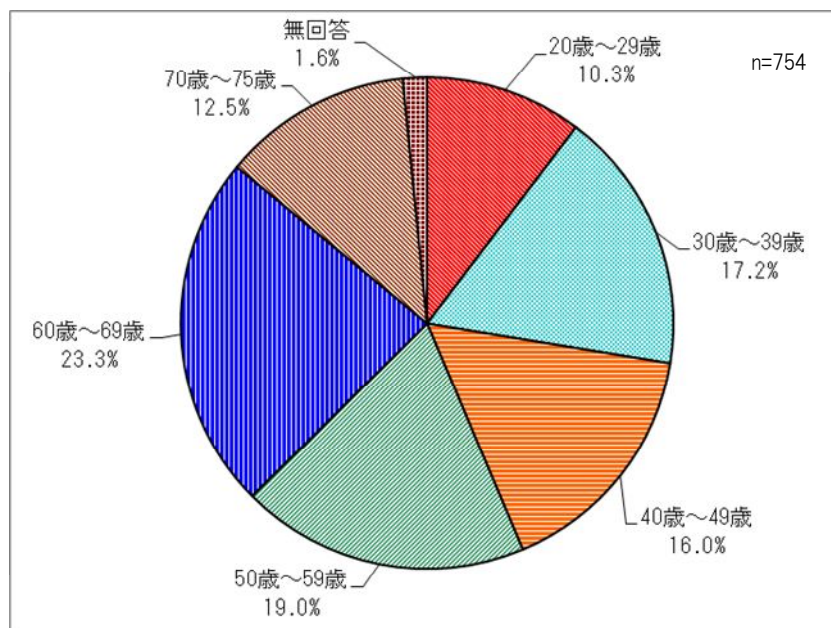
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」42.0%、「女性」56.6 となっている。



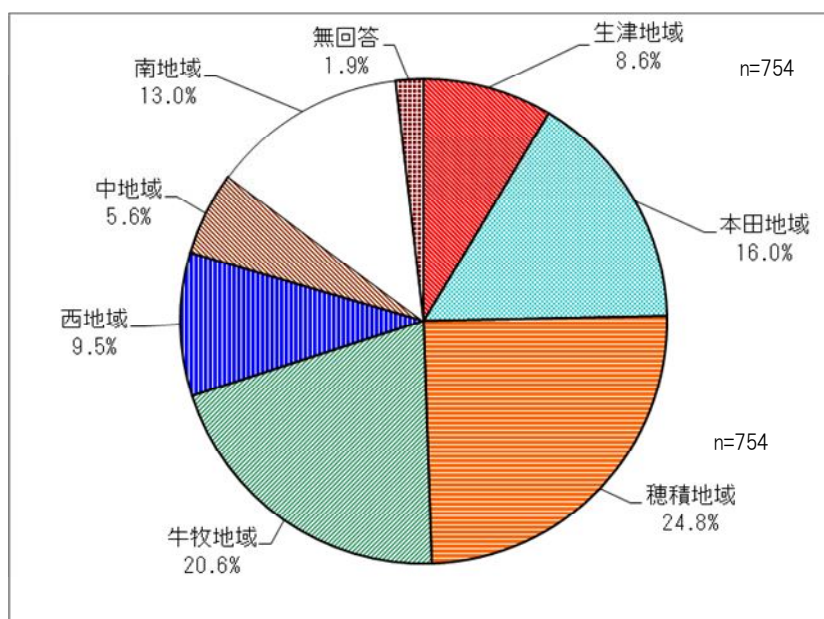
(2) 年齢

回答者の年齢は、「60歳代」(23.3%)、「50 歳代」(19.0%)、「30 歳以上」(17.2%)、「40歳代」(16.0%)、「70歳～75歳代」(12.5%)、「20 歳代」(10.3%)の順となっている。



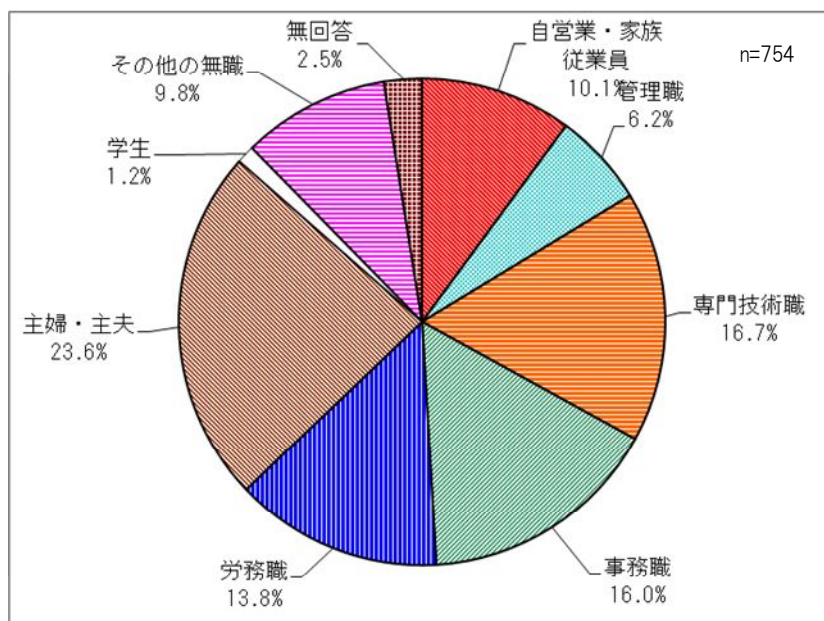
(3) 居住地域

回答者の居住地域は、「穂積地域」(24.8%)、「牛牧地域」(20.6%)、「本田地域」(16.0%)、「南地域」(13.0%)、「西地域」(9.5%)、「生津地域」(8.6%)、「中地域」(5.6%)の順となっている。



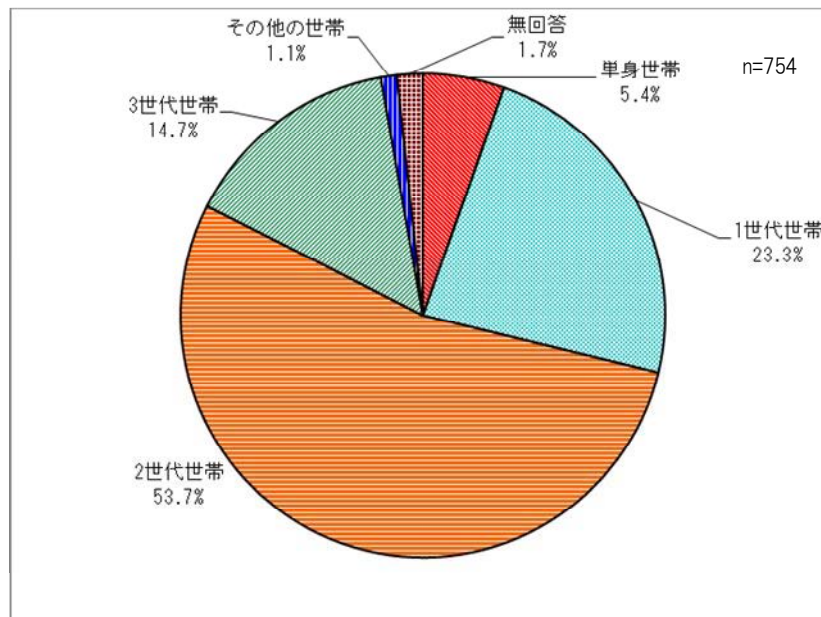
(4) 職業

回答者の職業は、「主婦・主夫」(23.6%)、「専門技術職」(16.7%)、「事務職」(16.0%)、「労務職」(13.8%)、「自営業・家族従業員」(10.1%)、「その他の無職」(9.8%)、「学生」(1.2%)の順となっている。



(5) 家族構成

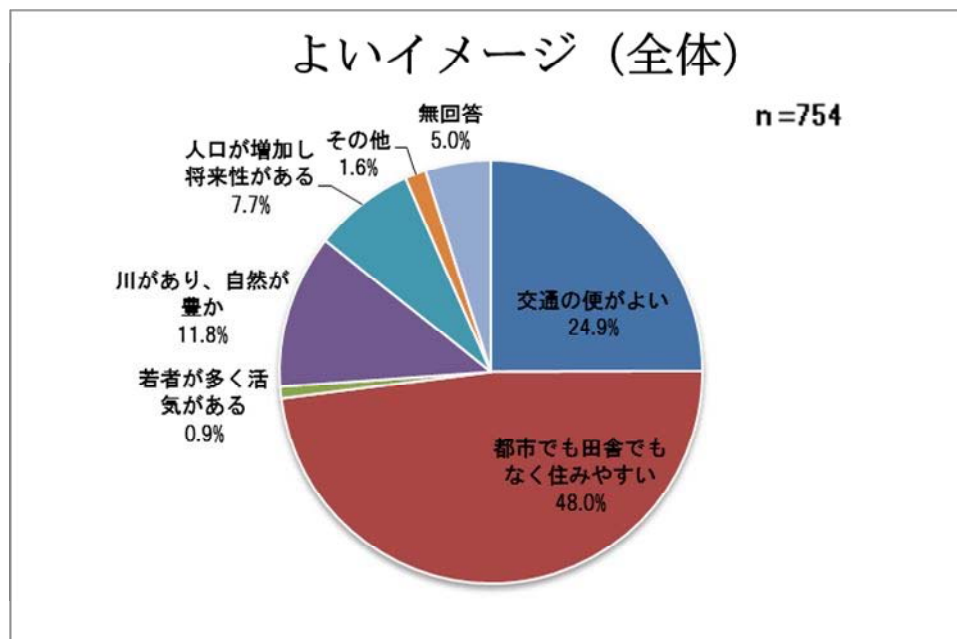
回答者の家族構成は、「2世代世帯」(53.7%)、「1世代世帯」(23.3%)、「3世代世帯」(14.7%)、「単身世帯」(5.4%)、「その他の世帯」(1.1%)の順となっている。



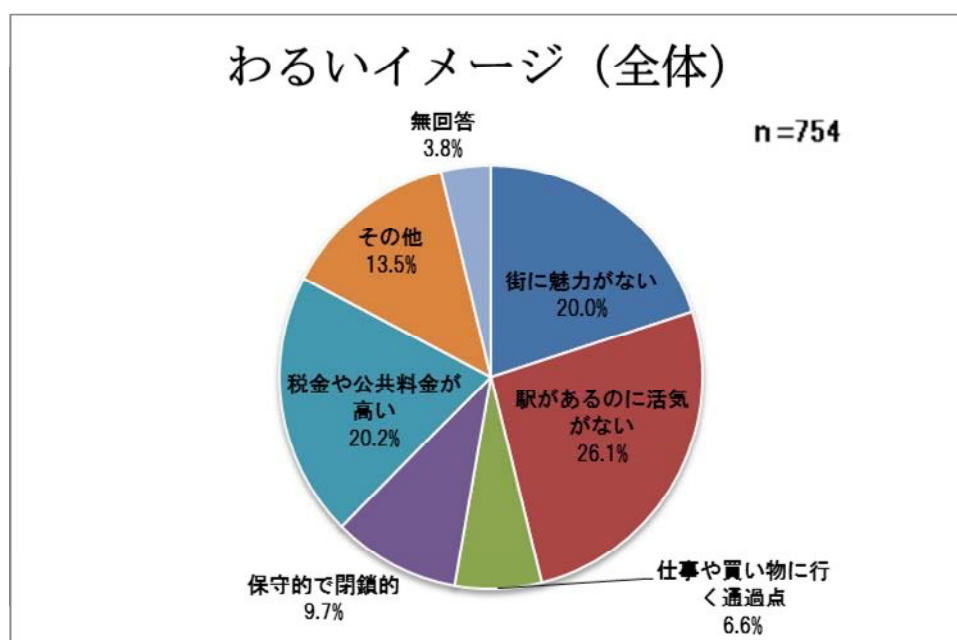
調 査 結 果

I 瑞穂市のイメージについて（全体）

問1 現在の瑞穂市についてどのようなイメージを持っていますか。（SA）

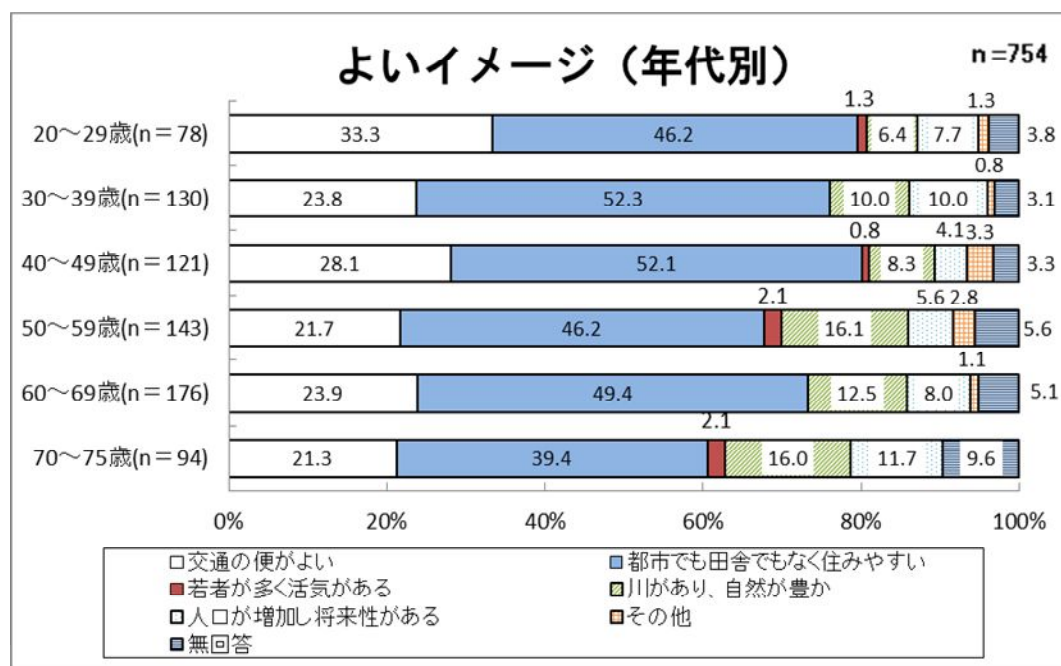


よいイメージとしては、「都市でも田舎でもなく住みやすい」が48.0%、「交通の便がよい」が24.9%と回答者の7割以上が交通の便がよく住みやすいイメージを持っている結果となっている。

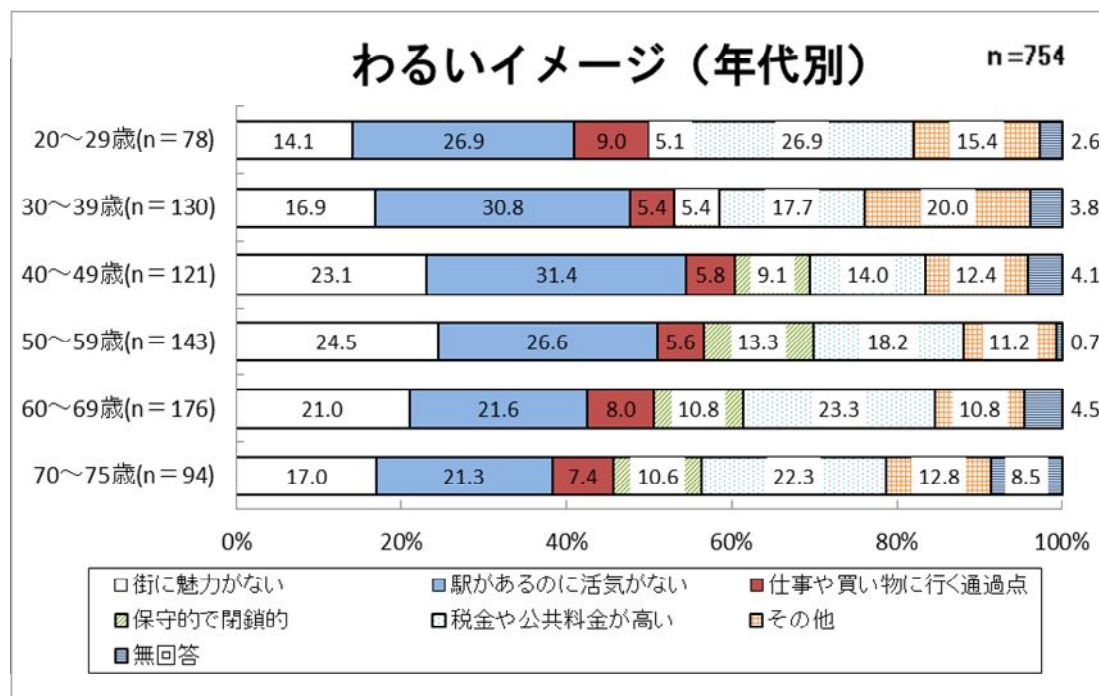


わるいイメージとしては、「駅があるのに活気がない」が26.1%、「街に魅力がない」が20.0%と、駅周辺や市内に魅力ある施設が少ないことなどからのイメージが低下傾向が窺える。また、「保守的で閉鎖的」が9.7%あることから、街全体のイメージとして活気に欠けている傾向がある。

I 瑞穂市のイメージについて（年代別）

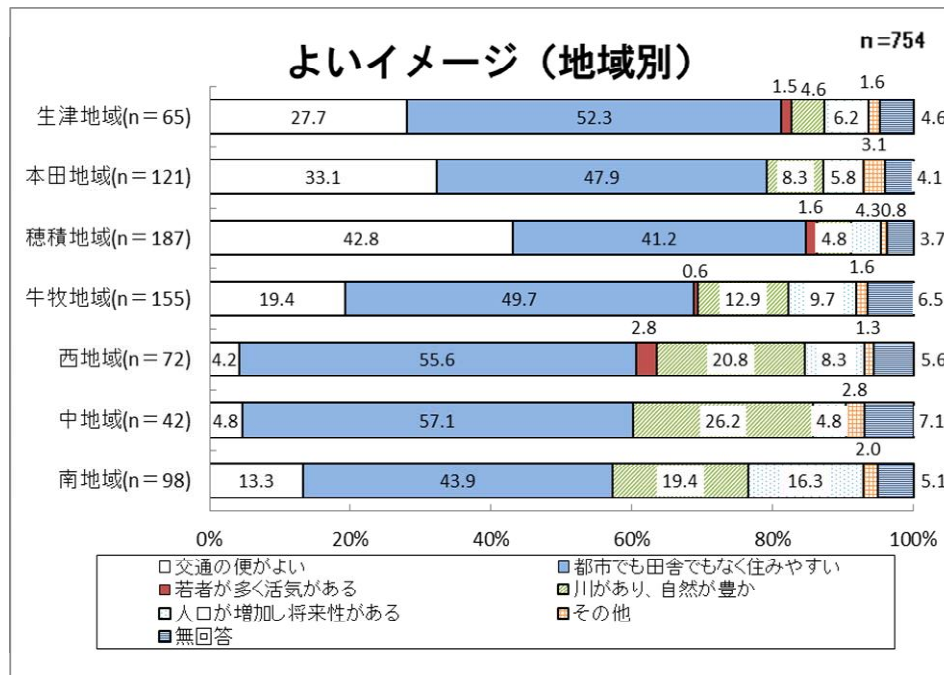


20歳代～40歳代で「都市でもなく田舎でもなく住みやすい」は、平均 50.2%と高く、「交通の便がよい」も平均 28.4%と高い。名古屋まで30分と通勤圏としての利便性が高く、岐阜や大垣にも近いという地理的好条件が、若い世代、とりわけ労働者層にとって、街の魅力につながっているものと考えられるが、一方「若者が多く活気がある」の回答が1%未満と、若い世代の転入があることに反し、非常に低い。これは、地域に若者が活力として入り込めていない現状があるものと推察され、若い世代が地域で活躍できる場の提供や、若者の活動を支援するなどの環境整備を進めることが必要と考えられる。

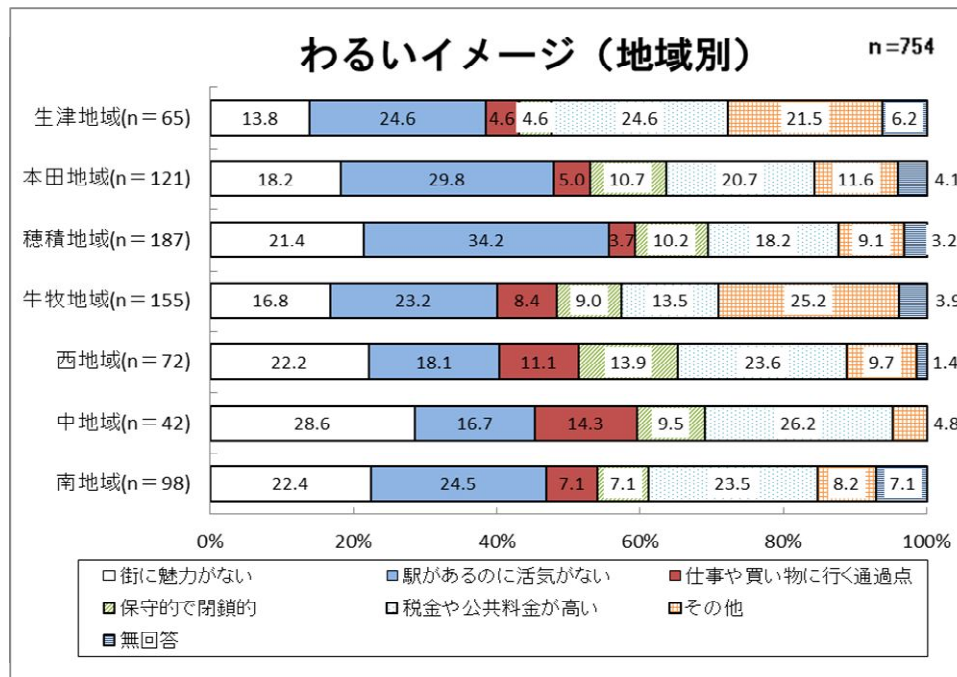


30歳代、40歳代で「駅があるのに活気がない」が平均 31.1%と他の年代に比べて高く、40歳代、50歳代で「街に魅力がない」が平均 23.8%と高くなっている。現役の労働力世代は、県内外をはじめ、他地域と比べて駅周辺に活気がないことや、街に人を引き付ける魅力がないことを感じていることが分かる。「保守的で閉鎖的」が50歳代で13.3%と高いのは、瑞穂市の地域性が他の地域に比べ硬直化しており、街全体に内向きで閉鎖的なイメージを特に持っている年代であると推察される。

I 瑞穂市のイメージについて（地域別）



地域別のよいイメージでは、「交通の便がよい」の回答が生津、本田、穂積地域の平均で32.8%と高くなっている。一方、西、中、南地域の平均は7.4%と低く、交通の便について地域間にイメージの差があることが分かる。「都市でも田舎でもなく住みやすい」の回答は、全体的に高い傾向にあるが、「川があり、自然が豊か」の回答は、西、中、南地域の平均で22.1%と高く、生津、本田、穂積、牛牧地域の平均で7.7%と低くなっている。「人口が増加し将来性がある」の回答は、牛牧地域で9.7%、南地域で16.3%と高い傾向にあり、穂積地域、中地域でそれぞれ4.8%と低いのは、人口が増加している地域とそうでない地域で将来に対するイメージの違いがあるものと推察される。

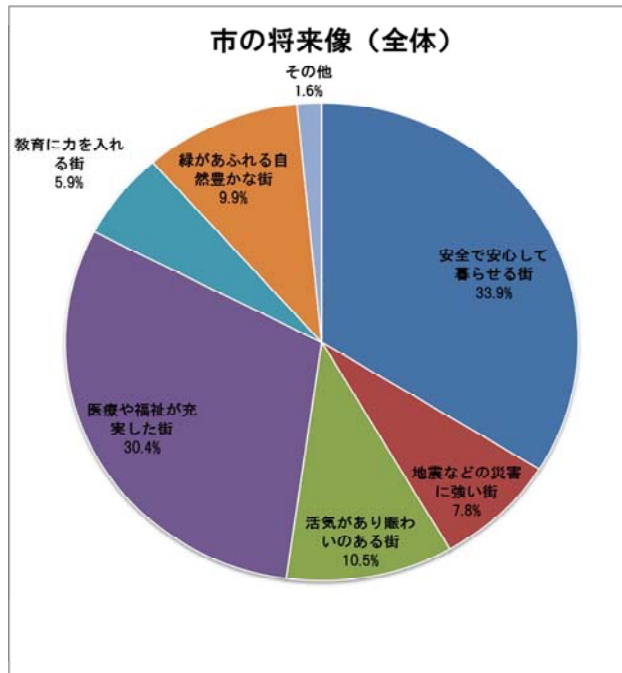


「駅があるのに活気がない」は、駅がある穂積地域(34.2%)で最も高く、駅から比較的遠い中地域(16.7%)で最も低くなっている。「街に魅力がない」の回答は、西地域、中地域、南地域の平均で24.4%と高い。

「保守的で閉鎖的」の回答は、本田、穂積、西地域でそれぞれ10%を超えているが、生津地域で4.6%と低いのは、生津地域の住民が全体的に若い年代層で構成されていることによるものと推察される。

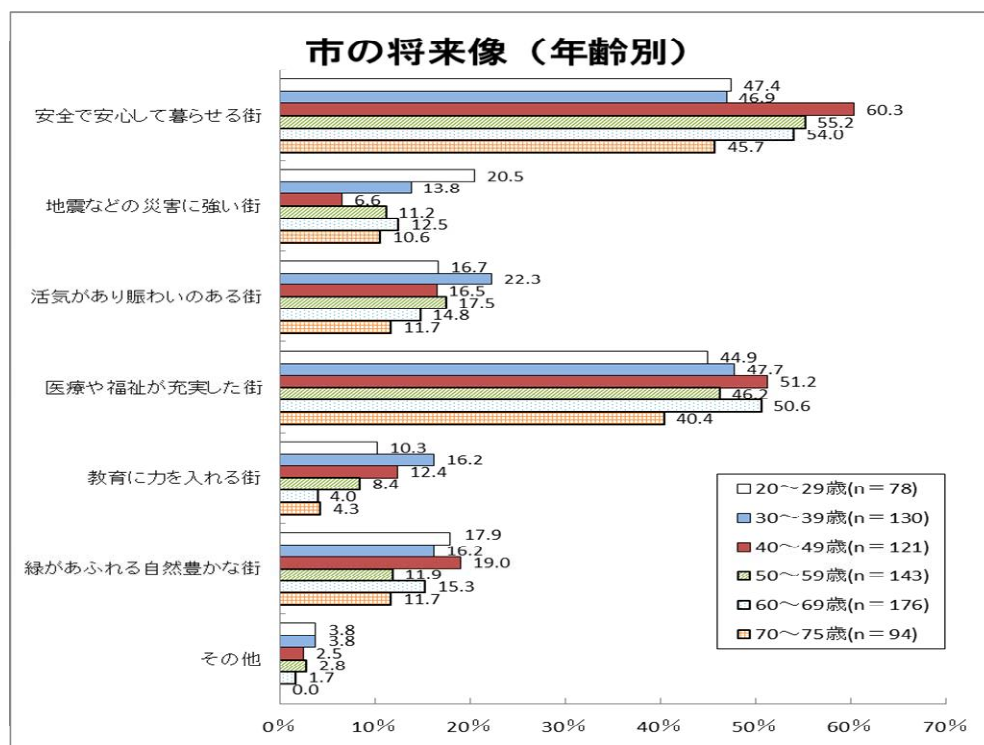
Ⅱ 瑞穂市の将来像について（全体・年齢別）

問2 将来瑞穂市がどのような街になればよいと思いますか。（MA）



「安全で安心して暮らせる街」が 33.9%、「医療や福祉が充実した街」が 30.4%と、この2つの項目で 64.3%と半数以上を占めており、全体的な傾向として「安全で安心な、社会保障が充実した街」が望まれている。

「地震などの災害に強い街」、「教育に力を入れる街」、「緑があふれる街」の回答は、それぞれ 10%前後になっている。

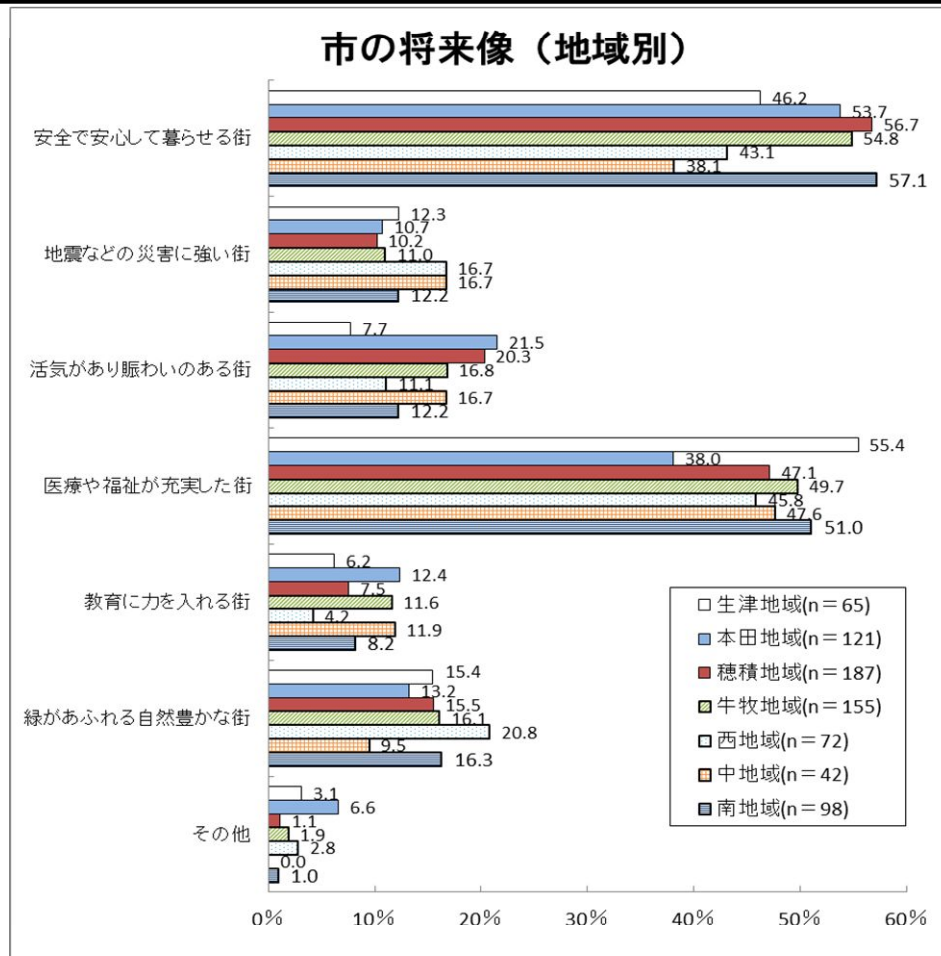


40歳代で、「安全で安心して暮らせる街」(60.3%)が高くなっている。

「教育に力を入れる街」は、子育て世代である30歳代(16.2%)が高く、60歳代(4.0%)、70歳～75歳代(4.3%)で低い。「地震などの災害に強い街」は、20歳代(20.5%)で最も高く、40歳代(6.6%)が低い。

「活があり賑わいの街」は、30歳代(22.3%)で高く、70歳～75歳代(11.7%)と低くなっており、各年代ごとの将来像にはばらつきがある。全体的な傾向としては、医療や福祉を充実し、安全で安心して暮らせる街へのニーズが高いことが分かる。

Ⅱ 瑞穂市の将来像について（地域別）



「安全で安心して暮らせる街」は、穂積地域(56.7%)、南地域(57.1%)で高く、中地域(38.1%)で低い。

「地震などの災害に強い街」は、西地域(16.7%)、中地域(16.7%)で高い傾向にある。

「医療や福祉が充実した街」は、生津地域(55.4%)で高く、本田地域(38.0%)で低い。

「活気があり賑わいのある街」は、本田地域(21.5%)で高く、南地域(12.2%)、西地域(11.1%)で低い。

「医療や福祉が充実した街」は、生津地域(55.4%)で高く、本田地域(38.0%)で低い。

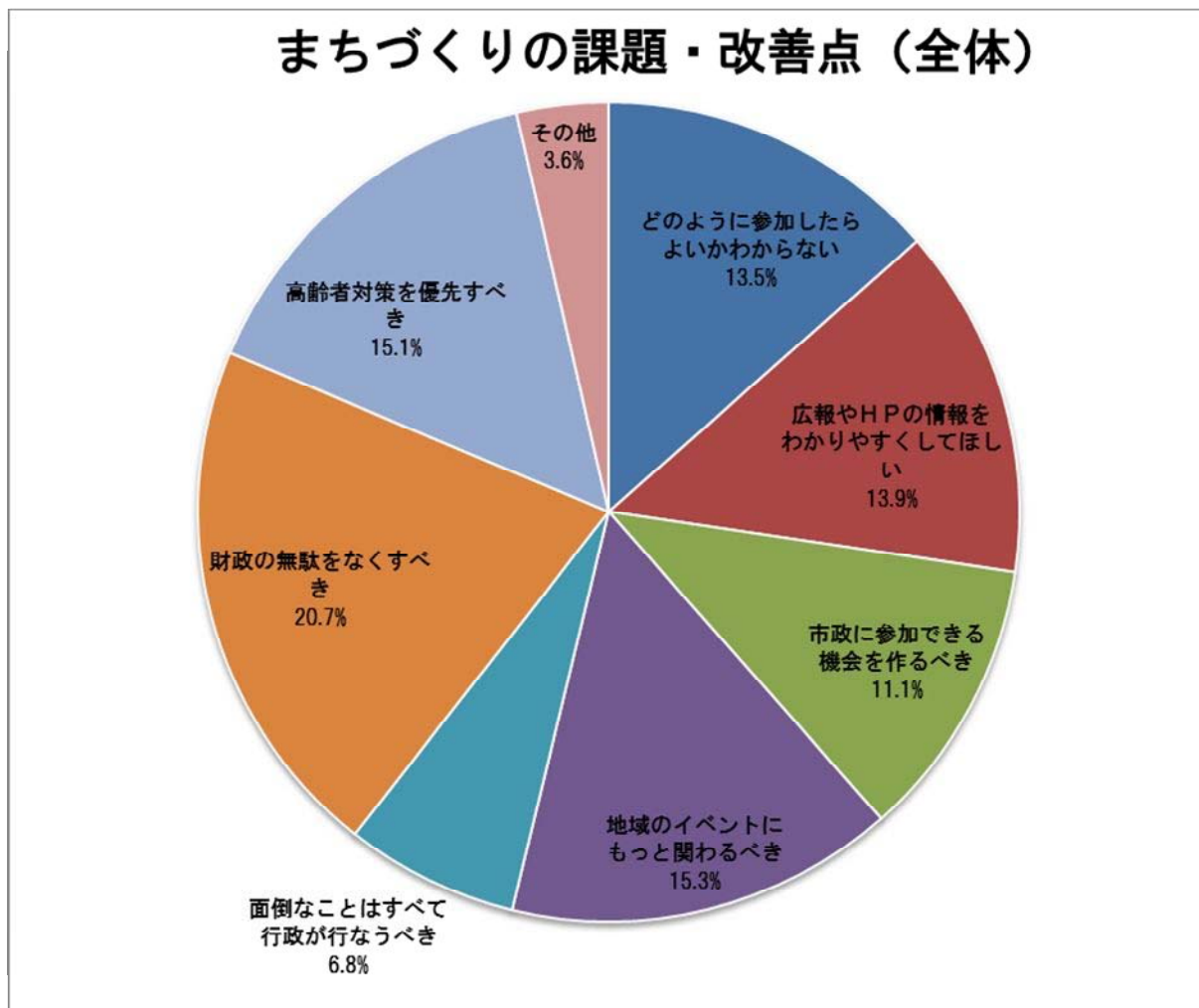
割合の高い項目は、地域の満足度が低いものであると考えられ、それにより地域の将来像にも違いが出ていることが分かる。

《その他の意見(自由記入欄)》

- 静かで安心な街
- 子どもがのびのびと育ち、質の高い教育を受けられ、将来ずっと住み続けたいと思える魅力ある街
- 保育施設が充実した街
- 大きな公園があり、子どもが育てやすい街
- 高齢者に優しい街
- 子どもが多いにぎやかな街
- 地域活動が活発な街

Ⅲ まちづくりの課題・改善点（全体）

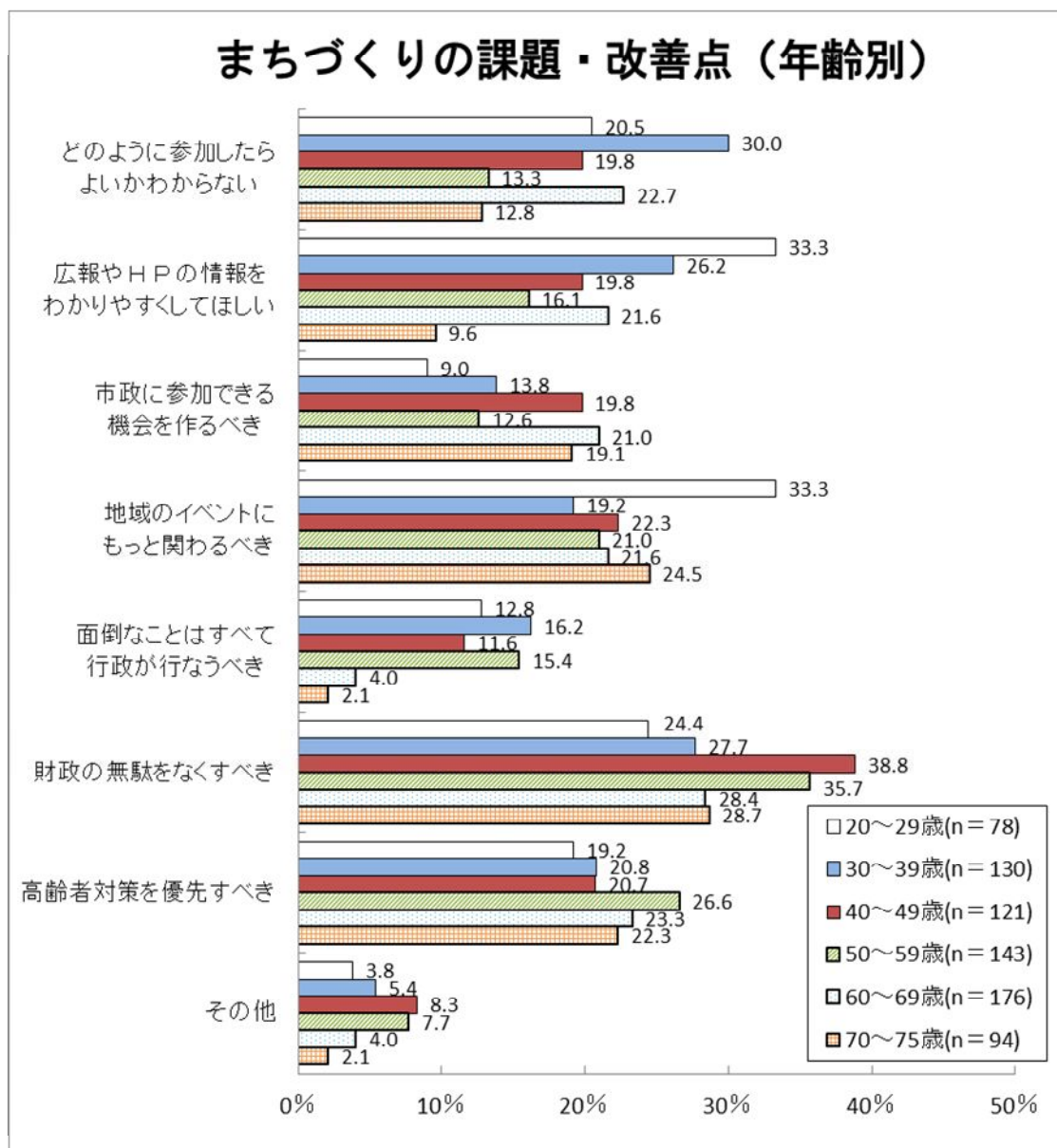
問3 瑞穂市では「市民参画、協働のまちづくり」を目標として掲げ、市民と行政が一体となったまちづくりを目指しています。まちづくりを推進するため現在どのような課題や改善すべき点があると思われますか。（MA）



課題、改善点については、「財政の無駄をなくすべき」(20.7%)が最も高く、「地域のイベントにもっと関わるべき」(15.3%)、「高齢者対策を優先すべき」(15.1%)、「広報やHPの情報をわかりやすくしてほしい」(13.9%)、「どのように参加したらよいかわからない」(13.5%)の順となっている。

「地域のイベントにもっと関わるべき」(15.3%)が高いことや、「面倒なことはすべて行政が行なうべき」(6.8%)が他の項目に比べて低い傾向は、行政だけでは地域自治が成り立たないことへの認識が市民に広がっているものと推察される。

Ⅲ まちづくりの課題・改善点（年齢別）



年齢別では、「財政の無駄をなくすべき」が40歳代(38.8%)で最も高くなっている。

「面倒なことはすべて行政が行うべき」は、30歳代(16.2%)、50歳代(15.4%)と高く、60歳代(4.0%)、70歳～75歳代(2.1%)と低いことは、仕事などで多忙な労働力世代と、現役を引退した60歳代以上の年代との間には、行政に対する考え方に違いがあることが分かる。

「広報やHPの情報をわかりやすくしてほしい」が20歳代(33.3%)で高いことは、スマートフォンなどの普及により、今後ますますインターネットなどを活用した情報提供へのニーズ高まることが予測されるため、対応を急ぐ必要がある。また、「どのように参加したらよいかわからない」が30歳代(30.0%)で高い傾向があることから、若年層の市政への参画機会の拡充と地域との関わりを持つための仕組みなどの構築が課題となる。

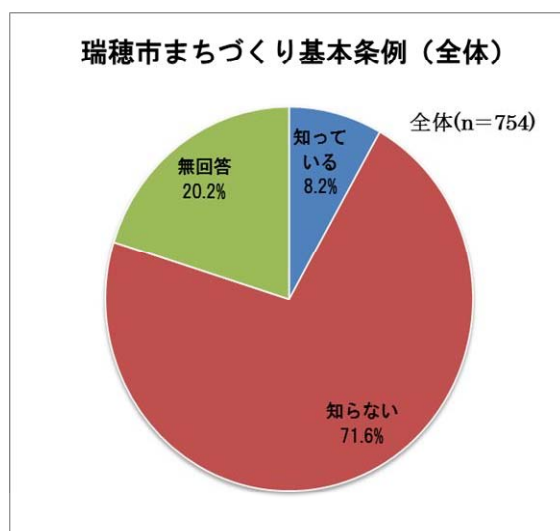
Ⅲ まちづくりの課題・改善点（その他意見）

《その他の意見（自由記入欄）》

- 区行事への物心両面の支援。（現場に出向き意見などを聞く）
- 仕事に追われあまり参加できない。
- 転入者はいつまでも地元の住民となじめないような雰囲気があり、参加しづらい。
- まちづくりの意味がよくわかりません。
- 今現在ですら、明確な「まちづくり」の方向性が打ち立てられていないうえに、市民参画、協働を名目に「まちづくり」を放棄している人達が無責任さに気付くべき。又、仮にそれを理解した上で実行しようとしているのであれば、その愚鈍な連中を排除すべき。
- 市民の意見を反映させる。
- このような機会は、ある程度充実しているが、市民に自らそれを調べようとする意識がない。これについての意識の改善など。
- 参加できない家庭もある事への理解がない。
- 市民参画・協働のまちづくりを目標とした取り組みについて具体的にどんな事業を行い、どんな進展があったのか広くお知らせすること。
- 若い市議を増やし、若い人の声を市政に反映させるべき。極論を言えば年齢層毎に議員数枠を設けるなど。
- 無駄なイベントは減らし、税金を効果的に使用するようにすべき。1つ1つの行事をもっと大きなものにして、他市町村からも人が来てくれるくらいのものをやってほしい。
- 行政が一貫していない。
- 道路は最初から直線道路で！説明会、行事等は日曜、祭日ばかりでサービス業に従事している人は参加できません。少しでも平日の夕方などにしてほしい。
- もっと学校や施設に入って共同の意識を持つ。
- 瑞穂市の役人の態度が悪い。上の方の男、課長か部長クラス、座ったままで全く動かない。税金叩ボー！！
- なんでも平等でなく、地域の実情、市民の声に応じて柔軟に支援、補助をすべき。
- 若い世代に任せるべき。

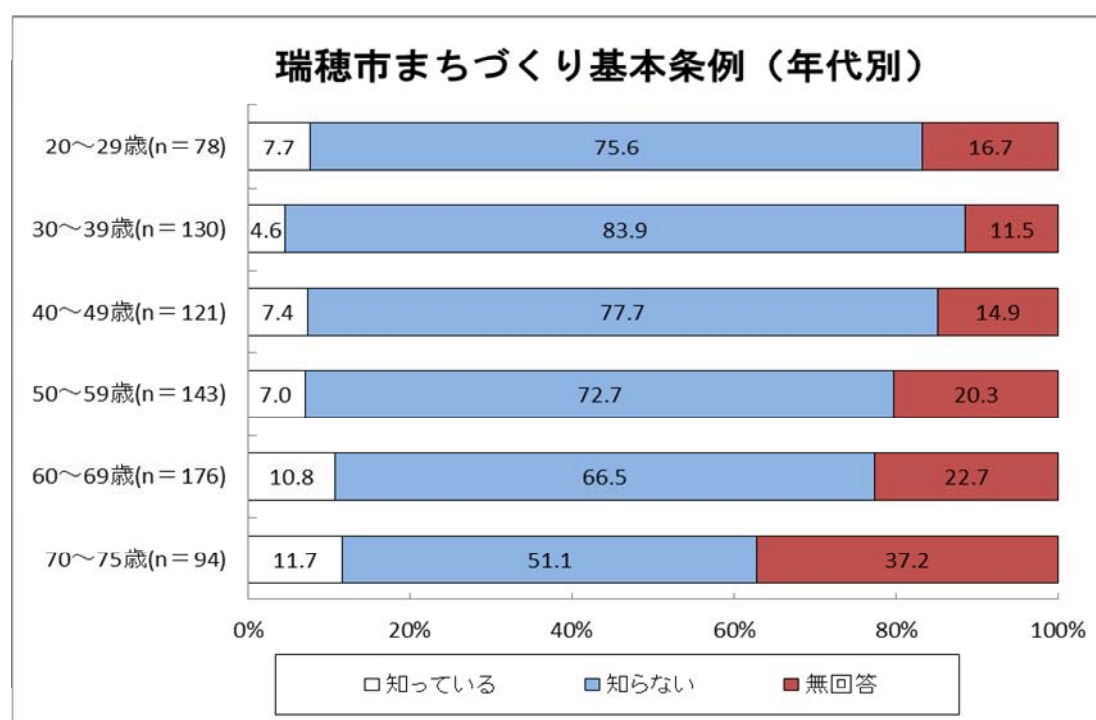
Ⅳ まちづくりへの参画方法について（その1）

問4 平成24年4月に施行された「瑞穂市まちづくり基本条例」を知っていますか。（SA）



「知っている」（8.2%）が1割に満たない状況になっており、「知らない」（71.6%）が7割を超えている。

まちづくり基本条例が市民にまだまだ知られていない現状が窺える。

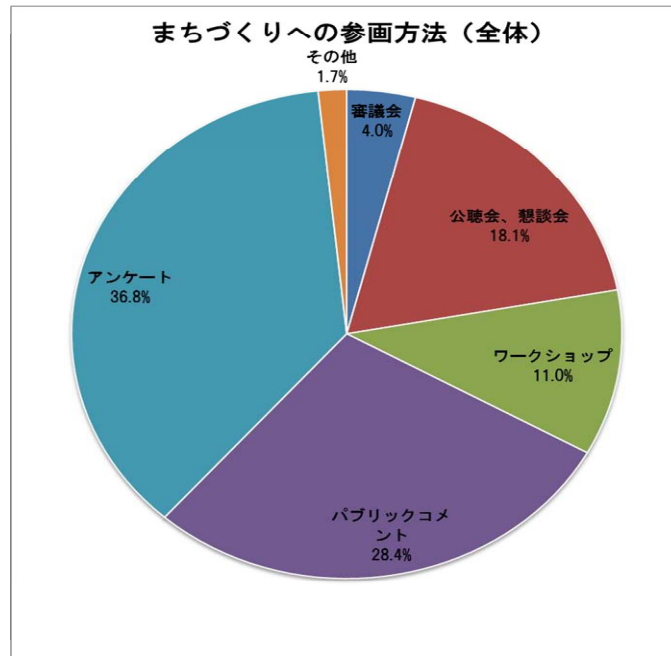


「知っている」（全体8.2%）が、60歳代（10.8%）、70歳～75歳代（11.7%）で全体の1割程度となっており、30歳代（4.6%）が特に低い。この状況からも、まちづくり基本条例がまだまだ市民に知られていないことが分かる。

Ⅳ まちづくりへの参画方法について（その2）

問4-1 「まちづくり基本条例」では、市民の意見が市政に反映できる機会を保障するため以下の1～6に掲げる方法が用意されています。

あなたが市政に参画する場合、どの方法なら参画しやすいですか。（MA）



「アンケート」（36.8%）が最も高く、次いで「パブリックコメント」（28.4%）、「公聴会、懇談会」（18.1%）の順になっている。「審議会」（4.0%）が最も低く、「ワークショップ」（11.0%）は、「審議会」（4.0%）と「公聴会、懇談会」（18.1%）との中間的な割合になっている。

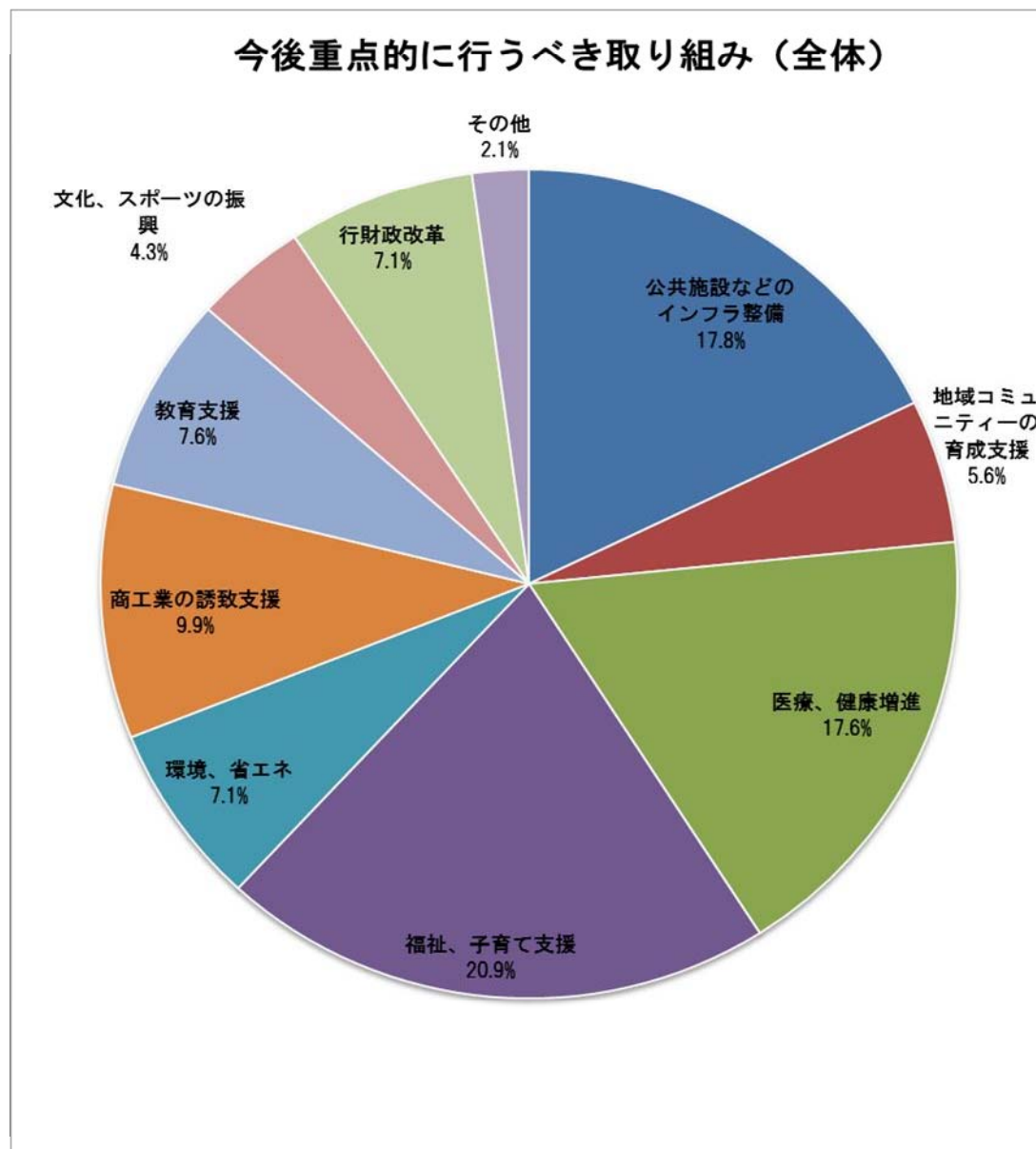
「アンケート」や「パブリックコメント」など、時間的な制約が少ないものなら参画できるが、「審議会」や「ワークショップ」など、一定の組織として集まり、審議や検討を行うような参画については敬遠されがちな傾向が見える。

《その他の意見（自由記入欄）》

- ☐ あまり参加のみにとらわれず、職員が自ら考えることが必要、自分で勉強を。
- ☐ 仕事に追われあまり参加できない。
- ☐ どうせ言っても聞いてもらえない。
- ☐ 高齢者には言葉や表現が難しい。
- ☐ どの機会を用意されても実行されなければ無駄。
- ☐ 自治会を通した意見提出。
- ☐ インターネットの活用。
- ☐ TELアンケート。
- ☐ もう少しハードルの低いものから参加できたらと思う。
- ☐ ワークショップ、パブリックコメントの意味がわかりません。
- ☐ アンケートなどしてもあまり反映されているとは思えません。
- ☐ 知らないのではありません。

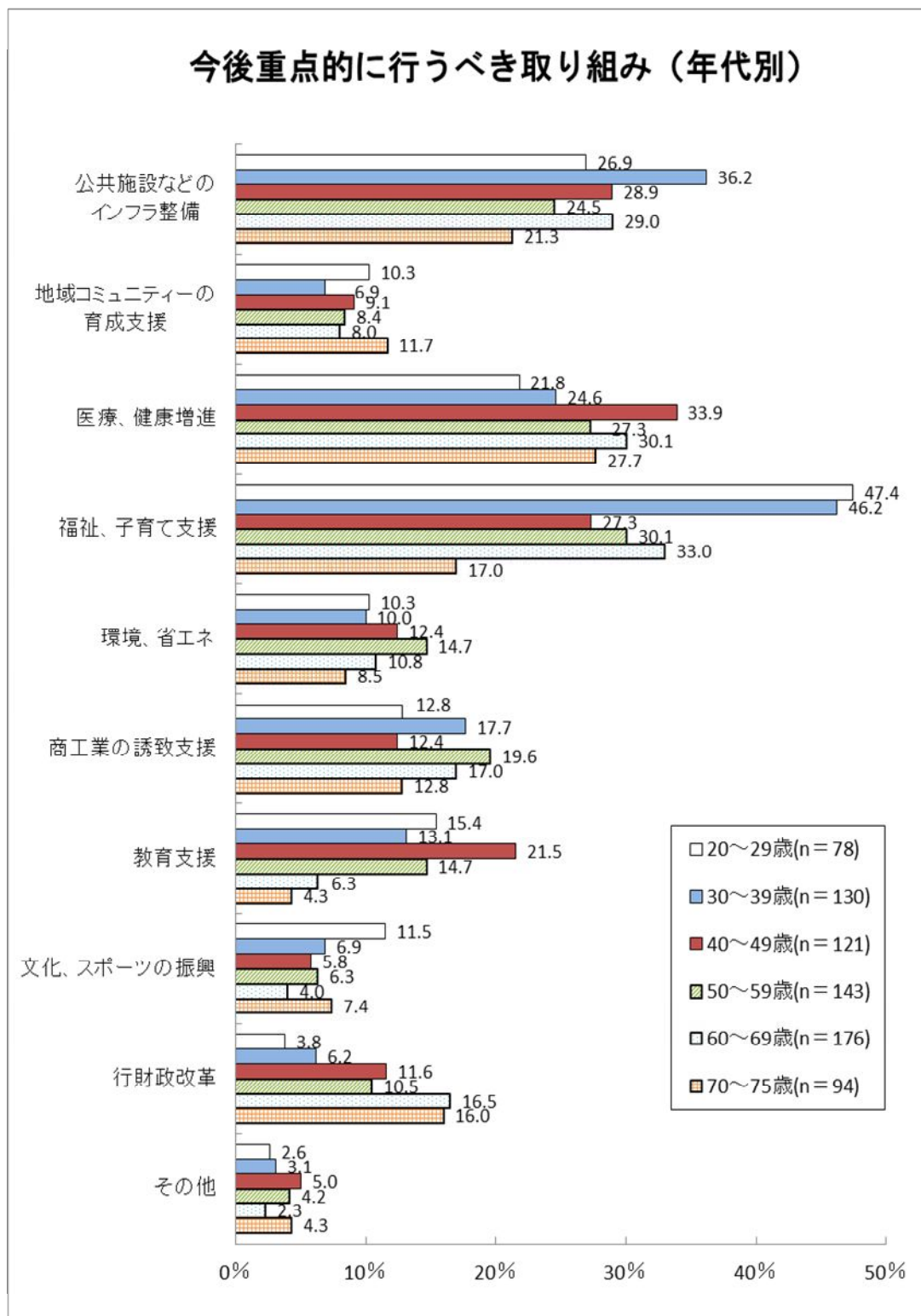
V 今後重点的に行うべき取り組みについて（全体）

問5 瑞穂市が今後重点的に行うべき取り組みについて、下記項目から特に重要と思われるものを選んでください。（MA）



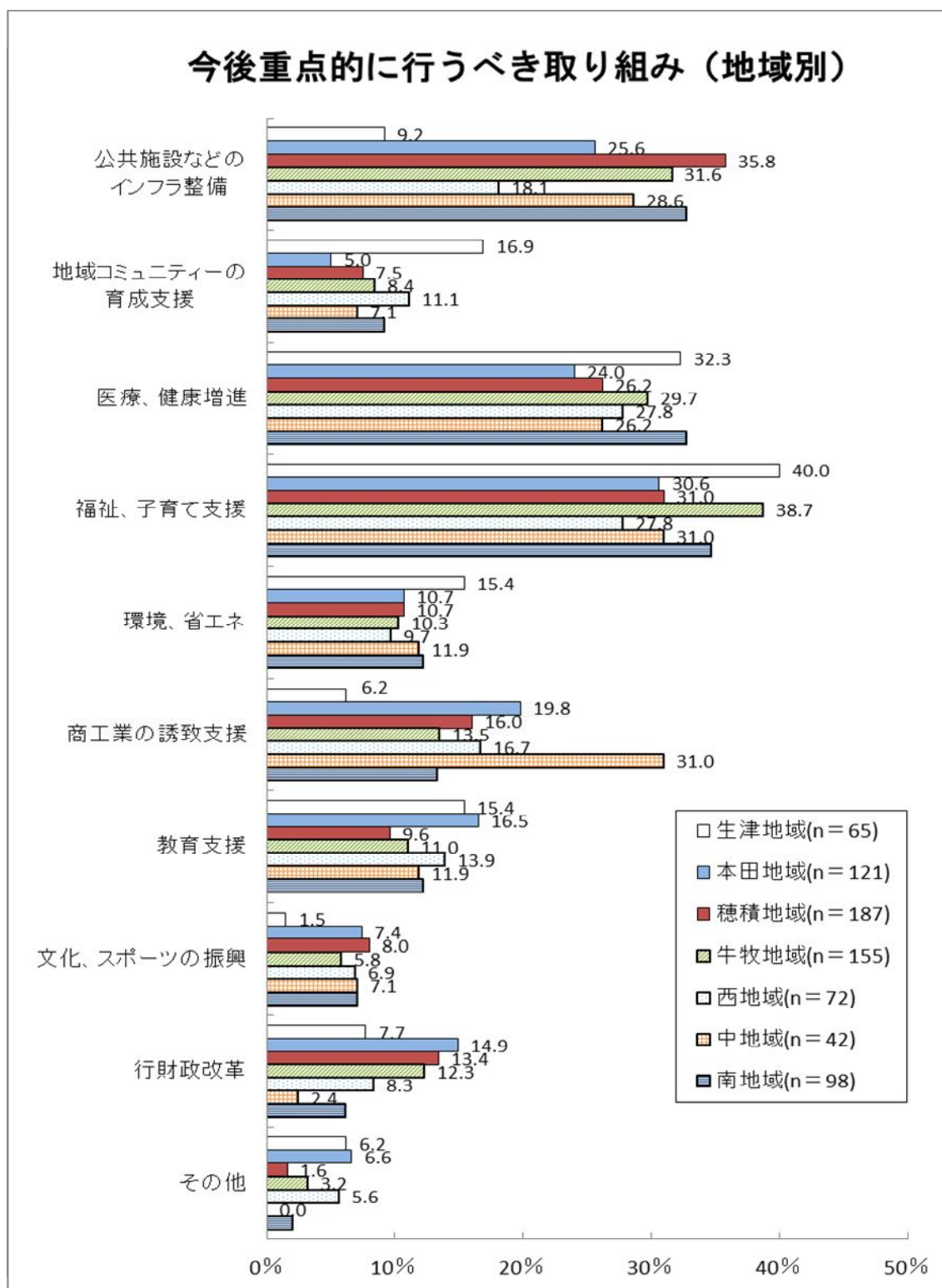
「福祉、子育て支援」（20.9%）が最も高く、「公共施設などのインフラ整備」（17.8%）と「医療、健康増進」（17.6%）の順になっている。一方「教育支援」（7.6%）、「行財政改革」（7.1%）、「環境、省エネ」（7.1%）は低くなっている。「地域コミュニティの育成支援」（5.6%）、「文化、スポーツの振興」（4.3%）は他のものより低い傾向にある。

V 今後重点的に行うべき取り組みについて（年代別）



「福祉、子育て支援」は20歳代（47.4%）、30歳代（46.2%）で高く、70歳～75歳代（17.0%）で低い。「公共施設などのインフラ整備」は、30歳代（36.2%）で高く、70歳～75歳代（21.3%）で低い。「医療、健康増進」は、40歳代（33.9%）で高く、20歳代（21.8%）で低い。「教育支援」は40歳代（21.5%）が高く、70歳～75歳代（4.3%）で低い。「行財政改革」は、60歳代（16.5%）、70歳～75歳代（16.0%）で高く、20歳代（3.8%）、30歳代（6.2%）で低い。このように世代間で行うべき重点的な取り組みに大きな違いがあることが顕在化していることが分かる。

V 今後重点的に行うべき取り組みについて（地域別）



「公共施設などのインフラ整備」は、穂積地域（35.8%）で最も高く、生津地域（9.2%）が最も低い。「地域コミュニティの育成支援」は、生津地域（16.9%）で最も高く、本田地域（5.0%）が最も低い。「医療、健康増進」は、生津地域（32.3%）で高い。「福祉、子育て支援」は、生津地域（40.0%）、牛牧地域（38.7%）で高い。「商工業の誘致支援」は、中地域（31.0%）が最も高くなっている。「教育支援」では、本田地域（16.5%）、生津地域（15.4%）で高く、牛牧地域（11.0%）、穂積地域（9.6%）で低い傾向にある。地域によって求めるニーズにも大きな違いが出ていることが分かる。

V 今後重点的に行うべき取り組みについて（その他自由意見）

公園、道路、病院などインフラ整備等に関する意見 I

- 個人病院は多いですが、総合病院がなく、市として市民病院を作る予定はないのでしょうか？（60代 女性）
- 安全で過ごせる街づくりをしていただきたい。公園、道路。（60代 女性）
- 市役所周辺、駅周りだけ無駄に道路が整備されるように思います。新町のファミマの前、信号は無理でもカラー舗装くらいしてください。10年以上地域の人たちが言い続けているのに変わらないのはおかしいです。家や車が増えているのになぜ昔のままなのでしょう。（30代 女性）
- 穂積地区の道路及び公園その他の施設はなかなか整備してもらえません。住民は口々に言っています。南瀬ばかりよくなるとのことです。私もそう思います。年金生活なので、国民健康保険税が高いのは困っています。（60代 女性）
- 市民病院を作してほしい。老若男女が一日中でも過ごせるほどの規模の公園が欲しい。本巣にある「おんさい広場」のような地元で採れた野菜等を安く購入できる施設が欲しい。（30代 女性）
- 近所に公園はあるが、他の市民が遊びに来れるような大きめの遊具が充実したところを作してほしい。（30代 女性）
- 中～大規模な公園、自然と触れ合う公園が近くにない。自分の子供を通じてしか地域の関わりがない。子供が学校を卒業すると（特に小学校を）地元の行事や街づくりに関心が薄くなった。（40代 女性）
- 瑞穂市南地域の生活道路を整備してほしい。狭い幅員の道路を自動車、自転車、歩行者が危険一杯に通っている。本当に危ない！（60代 男性）
- 野球場・テニスコートを中心としたスポーツ公園を作してほしい。中途半端なものを作ってもしょうがない。（50代 男性）
- 要介護施設の増設。（70代 男性）
- 岐阜市の長良公園のような大きくて駐車場が広い公園があるといいと思います。小学生などが授業終了後や土日に行ける児童館があるといいと思います。（30代 女性）
- 道路の整備①小中学生の登下校の安全。道路の狭さ、歩行者・自転車通学の安全を守るため、時間帯による通行止。時間帯による一方通行。路側帯の設置などを実現できないのか。死亡事故が起きているのに何の改善もみられない。医療費を無料にすることが子供たちを大切にしているのか疑問です。親が安易に病院に連れて行っているだけ？②道路交通網の整備。本巣市の方が段階的に取り組んでいるように思われます。（60代 男性）
- 瑞穂市にも大きな総合病院を作って欲しい。また、保険料を安くして欲しい。（60代 男性）
- 今後は医療や福祉が充実した街づくりを進めていくべきである。子供から大人まで楽しめる公共施設などを整備し、活気あふれる街づくりを進めていくべきである。（20代 男性）
- 市の財政上大変な負担になるが、なぜ名紡の有効活用を考えなかったのか残念。（70代 男性）
- 駅近くに無料駐輪場を作って欲しい。（もちろん有料駐輪場よりも遠くて良い。）魅力的な公園があったらよいと思う。（40代 男性）
- 広い公園、駅の移動、市の特徴作り。（70代 男性）
- 道の交通量の割に道が狭く特に子供や自転車が危ない！広げてください。（30代 女性）
- 自転車レーンの充実。（60代 女性）

<次ページにつづく>

公園、道路、病院などインフラ整備等に関する意見 II

- 公園がなさすぎ！ 小さなお子さんたちが安心安全で楽しく遊べる公園をもっとたくさん作って欲しい！ 岐阜市なんかは公園から少し行くとまた公園というほどたくさんあるのに… 野田橋からの中学生たちの通学路の危険なこと！ 狭い道路に歩いている中学生、自転車の中学生、車と…朝のラッシュ時にひしめきあって、よく事故が起きないもんだと思いますが、現場をまず体験していただきたい。～子供たちに優しい街づくりをお願いしたい！！～ (50代 女性)
- 子育て中の母親からの目線になりますが…瑞穂市は公園が少ないように思います。小さな子が集まれるような遊具のある公園の充実を希望します。また古い公園はトイレが少なく、高齢者と子供と出かけても不便さを感じる。周りを見ると公園がないから…と、わざわざ車で遊具のある公園に行かれる方が多いです。新しく人口も増え活気ある街なので、同じ市の中で家族と一緒に過ごせるような環境が整っていくといいと思います。瑞穂市生まれで過ごしやすい好きな土地です！ (30代 女性)
- ベッドタウンとしては優秀だと思うので、インフラをもう少し整備すれば人口を増やせるのではないかと。 (20代 男性)
- 歩道の充実。企業の誘致。道路の手入れ。 (60代 男性)
- 他県から移住してきた身としては、あまりにも市としての魅力が薄いです。大きな公園もなく、子供を連れて気軽に出かけられる場所がないので、仕方なく他市へと車を走らすことに。市民が使える大型のスポーツ施設があればいいのですが、今ある施設が古く小さく魅力的でない。現状は「住むだけの街」であり、ライフスタイルを充実させるだけの魅力に欠けています。他市を参考に動いている気配も見えてこないもので、あまり保守的にならず、もっといろんなことにチャレンジしてほしいです。 (30代 男性)
- 幼稚園を増やしてほしい。 (30代 女性)
- 瑞穂市のメインストリートである縦貫道が車で走りにくすぎる。 (30代 女性)
- 合併して10年経ったのですから、市全体としての設備を見直して、地区での差(サービス等)がないようにしてもらいたい。市のグラウンドは整備されたが室内運動場があるとありがたい。 (40代 女性)
- もう箱物はうんざりです。本当の意味で住みやすい(福祉でほかの市町村にはない魅力があることをお金をかけず)所があるといいですね。 (60代 男性)
- 橋の歩道整備。 (40代 男性)
- 市内には幼児、児童が安全で安心して遊ぶことができる児童公園、芝生広場等がないため、成長期の幼児童が親子でふれあい、食事ができるような公園を建設してほしい。市内は狭い道路が多いので拡幅を！また今後の都市開発を図っていくためにも道路網の整備を図っていく必要があると思います。 (60代 男性)
- 自転車道、でこぼこがたくさんあり転倒しそうで困っています。自動車が主でなく、歩く老人、自転車に乗る老人・子どもの事も考えてほしい。市バス、今回変更して利用しにくくなりました。せめて1時間に1本くらいは通ってほしい。買い物に出かけるのがとても不自由です。 (70代 女性)
- 本巣縦貫道の北向き車線の右折斜線の書き方が悪いので渋滞の原因になっていると思う。(右折斜線を直進も可能にするべきだと思う。) 同じく歩道が狭い。 (50代 女性)
- 折角牛牧にできた公園なのに遊具が少なくさみしい。 (30代 女性)
- 住んでいる近くに小さな子供が遊べる公園がないので、公園を作って欲しい。 (30代 女性)
- 名古屋紡績の跡地に商業施設が建つとき、21号に出にくくならないようにして欲しい。渋滞しないように。 (20代 女性)

<次ページにつづく>

公園、道路、病院などインフラ整備等に関する意見 Ⅲ

- 生津地区にはコミュニティーセンターがない。車が乗れない人は市民センターまでの習い事はなかなか行けないと思います。(70代 女性)
- 近年の高齢化社会は、特に住宅地に多く最大限にその対策が望まれる。そのため瑞穂市に住んで本当に良かったといえる街づくりしてほしい。(高齢者住宅、介護施設の充実化)。瑞穂市に大病院がないのが淋しく必要である。小病院(医院)保全という事もあるが患者側に立った施設のために要望したい。(70代 女性)
- 道路の街灯をもっと増やしてほしい。用水路が多く柵もないため、小さな子供が落ちる恐れがあり危険。以上の事を改善して頂きたいです。(40代 男性)
- R171 美江寺～結線。JR 下道路拡副。(70代 男性)
- 総合病院ができるとうれしい。(60代 女性)
- 本巣縦貫道の偏った車線配分(北1車線、南3車線)により常に北向きが渋滞しています。2車線2車線への変更を強く要望します。今後、紡績跡地にホームセンターができれば、さらに、渋滞がひどくなることが予想されますが、なぜ改善されないのでしょうか。(50代 女性)
- 歩道や自転車専用の路側帯を作してほしい。(まだまだないところがたくさんあります)特に巣南のトミダヤ近くの犀川の橋が狭いので、とても危なく感じます。ぜひぜひ路側帯が欲しいです！(60代 女性)
- 用水路が多く柵もないため、小さな子供が落ちる恐れがあり危険。(40代 男性)
- 河川を利用した、散歩やジョギングができる、車が通らない、片道4km程の遊歩道を河川の強化も兼ねてぜひ作っていただきたい。健康増進のためです。(60代 男性)

駅や駅周辺、バス等に関する意見 I

- 駅の周りの駐車場不足、穂積駅まで行くのに不便です。(60代 女性)
- 穂積駅付近は送迎車の混雑が激しい。特に北側の道路拡充等都市としての玄関口の充実化を望む。(70代 女性)
- 穂積駅周辺の整備(駅の送迎そのたびに路上駐車が危険)また穂積駅の改築(出入りが一つしかなく乗降客が多く混雑して危険)。(40代 男性)
- 駅北・南地域の活性化と道路拡張。(30代 男性)
- 穂積駅は年間多くの利用者があるのに、コンビニエンスストア等は皆無です。商店街もなく、将来のビジョンが全く見えません。(50代 女性)
- 駅の移動、市の特徴作り。(70代 男性)
- JRの駅の市中心部への移設。駅に向かうためのバスの充実。早急に希望する。(50代 女性)
- JR 穂積駅周辺の暗い街のイメージが大きなマイナス面を表している一つの問題点に思えます。乗り入れ入口が多いのになぜこんなに活気がないのだろうかと思惑に思えます。(50代 女性)
- 穂積駅北側にある東西の道が路上駐車であふれており非常に通りにくくなっています。道路整備、取り締まりを強化していただきたいです。(20代 男性)
- 高齢社会になるので、病院に連れて行ってくれるバスもあるとありがたいです。(60代 女性)

<次ページにつづく>

駅や駅周辺、バス等に関する意見 II

- みずほバスが有効に使われていない。本数が少なく、駅(職場、学校)や買い物、役場への交通手段としてはどうしても車がないと生活できない。(40代 女性)
- JR 穂積駅があるのだからもっとみずほバスの本数を増やしてほしい。改正されてさらに乗りにくくなってしまいました。駅が近くにあってそこまで行く手立てが少ないのは残念だと思います。(50代 女性)
- 駅までに全くバスの本数が少なくなり、すべてに便が悪くなりました。来る者が利用できるうちはよいのですが、歳を重ねるにつれ、全く不安が大きくなります。(不明 女性)
- 駅近くに無料駐輪場を作って欲しい。(もちろん有料駐輪場よりも遠くて良い。)(40代 男性)
- 駅前がさみしすぎる。(50代 男性)
- 駅前の開発を進めるべき。(30代 男性)

企業誘致等に関する意見

- 瑞穂市は長期的な計画があるのかな？企業誘致、駅周辺の活性化。駅があるのになんとさみしいことか？市となっても何かしら以前と変わらない。市が生き活きするためにも企業の誘致を！何に重点を置いて市政が進められているのか。市民には理解できていません。情報不足ではありますが・・・(60代 男性)
- 瑞穂市の財政はあまりわかりませんが、企業の誘致など進めないかと？(60代 女性)
- 企業の誘致。(60代 男性)
- もっと積極的に企業を誘致したり住みやすい街にしていかないと、岐阜や大垣に負けてしまうのは当たり前なので、これからいろいろとがんばってほしい。(30代 女性)
- 近くに高速が通るんだからもっと発展するように考えて誘致したりして少しでも企業の税金をあげるなど、便利な町を活かしきれてない。21号線、高速、いいところにあるのにもったいない。(30代 女性)
- 旧巣南地区の開発が取り残されている感じがする。穂積庁舎がメインになっているのが不満。積極的な企業誘致をして税収を増やしたり、雇用を増やして欲しい。(30代 男性)

下水道整備等に関する意見

- 道路等の公共設備工事への対応より、社会環境整備(公共下水道)を最優先で行い、岐阜県でのランクを上げ瑞穂市の社会環境を良くして欲しい。(60代 男性)
- 下水道を早く作って欲しいです。町内の高齢化で用水掃除が大変になってきているので、市で負担して業者にやって欲しいです。(50代 女性)
- 新築住宅が続々と建っていますが、下水道の整備はどうなっているのでしょうか。古い住宅は中はリフォームしても下水道までは手が回りません。(60代 女性)
- 下水道をもっと早く進めてください。ごみ焼却場を作って欲しい。公共の病院が無いので作って欲しい。細い所に助成金をばら撒かないで、大きい仕事にお金を使って欲しい。(70代 女性)
- 下水道事業はどうなっているのでしょうか。巣南地区に住んでいる者として、環境の為下水道事業に協力、賛同してきました。瑞穂市になってから、旧穂積町の下水道事業の取り組みの違いから進んでいないと思われます。旧巣南町の方でも協力していない人たちがおられます。協力者がバカを見る市政、行政ではいけないと思います。地道な事業推進を期待しています。(50代 男性)

ごみ、野焼きなど環境等に関する意見 I

- ごみ袋代が高額すぎると思います。関市は大 10 枚 60 円、小 10 枚 50 円・各務原市は大でも 20 枚 350 円だったと思います。安八町は第 10 枚 500 円小 10 枚 300 円という事で瑞穂市と同じという事はこの辺地域の相場なのでしょうか。可燃ゴミ収集日を週 2 回(月・金)にするなどして市の方の手間を省き、その分ゴミ袋料金を下げるなどの検討をお願いします。(30 代 女性)
- 瑞穂市は交通量の多い街でそれだけでも空気があまりきれいな気がしない。緑のたくさんある公園をもっと作って、市民がもっと外に出やすい環境を作らないと小さい子を持つ母親たちは息づまってしまいます。市民、地域の交流を増やすためにも、すぐにでも緑をもっと地域地域に増やしてほしいです。町内には公園すらない所もあり、それでは住民たちが安らげる場所が限られ、子供たち、その親、高齢者の方々、みんなが家の中にこもってしまうような不健康な町は、魅力的な町だとは言えないと思います。どうかご検討してみてください。(30 代 女性)
- ごみのポイ捨て多い。地域活動に参加する人は決まっており、新しい方の協力はなし。その割には文句ばかり、嘘ばかり言う。私は小さいころからこの瑞穂市で育ってきましたが、決してよくなったと思いません。瑞穂市の将来って…全く見えません。(40 代 男性)
- ゴミを畑などで燃やしているのをやめてほしい。(洗濯物がくさくなるので) (50 代 女性)
- 市が管理している公園や街路樹からの落ち葉が我が家の庭に大量に入ってきて掃除が大変。落ち葉を捨てるためにゴミ袋を何枚も使っている。小さい子供がいて大変だが…庭の掃除は仕方ないにしろ落ち葉を捨てる時のゴミ袋の代金などは支給してもらいたいと思う。毎年2〜3千円かかる。すぐに対応してほしい。本田団地せせらぎ公園です。子供が小さく家計に余裕がなく困る。(20 代 女性)
- 生ごみ収集はいいが不燃物の日が月 1 回は少ない。美来の森へ水曜日だけでなく曜日を増やす。ごみ袋代が高い。(50 代 男性)
- 住民票等の自動発行機を設置して欲しい。住宅近隣(畑・田)でものを燃やしている人が多いのでやめてほしい。(30 代 女性)
- 不燃物は業者に委託してやって欲しい。今現在は、地域で仕分けを行い、会社を休んで行わなければならない。名古屋市を参考にしたい。(50 代 女性)
- ごみの分別、回収のルールがとても分かりにくい。もっと分かりやすくして欲しい。プラスチックごみを資源回収するなど、もっと環境に配慮したエコな街づくりをして欲しい。(40 代 男性)
- 資源ごみの回収をもっと積極的にやるべき。燃やせるゴミ同様週に 1〜2 回自宅近くのごみ収集所で回収してほしい。紙ごみも分別してリサイクルすべき。(20 代 女性)
- 野焼きは普通なんですか？土日でも朝から臭くて布団や洗濯物が干せません。この時期はこの町はとても住みにくいです。どうかしてください。(30 代 女性)
- 川があり、自然豊かであり、良いイメージであるが、自然があるがゆえに田畑に関する管理が不十分であると思う。特にこれだけ環境問題が騒がれている中、自由にゴミを燃やしたり、歩道に自由に軽トラックを停めたりして、自然があってもよくないイメージが勝ってしまう。田畑を管理する人たちに十分周知して頂きたい。(30 代 男性)
- ごみ処理にお金がかかりすぎる。他の市町村の人と話すと「なんでそんなにゴミ袋代が高いの」とよく言われます。ごみ出しは生活に密着しています。企業がないので税収の関係もあるのですが、これでは暮らしやすいところだよ。と他の人に大きな声では言えません。(60 代 女性)
- ごみ置き場が不衛生すぎる、夏場などどうにかして欲しい。(30 代 男性)

＜次ページにつづく＞

ごみ、野焼きなど環境等に関する意見 II

- ごみ袋代高すぎ！一番身近な行政サービスが高くサービス悪いどうしても他の市が魅力的に見えます。（30代 女性）
- 以前に野焼きについてお話をさせていただいたことがあります。役所の方はモラルの問題で終了されましたが、モラルがないからこそこういう意見が出るのではないのでしょうか？小さな子供がいる、妊娠中である、など体にもよくないうえ冬場の洗濯も全く干せない日が続く…。毎日のように臭く、窓を閉めていても家の中まで臭う！モラルがないのであればお互いに住みやすい環境にさせていただくしかないと思う。燃やす日、時間などを市や県で決めて頂ければ、燃やす方もそうでない方もいいと思う。今の現状ではおいを毎日我慢しなければいけない。野焼きがなければこちらに来てよかったと思えるが、あまりにひどすぎて正直お金があればすぐにでも出ていきたいぐらいです。体にも環境にもよくないと思います。（20代 男性）

保育・子育て支援などに関する意見

- 3歳未満の子供が保育園に入れません…母親が正社員でも入れないので、何か対策をしてほしいです。（20代 女性）
- 未就園児の保育園を増やして欲しい。（30代 女性）
- 子育ての基本を整えてください。保育所を増やし、預かる時間を20時くらいまで延長。女性が家にいるだけになると社会とのつながりがなくなるような気がして不安になります。就業も社会へ参加している意識となります。それと夜勤のある方もいると思うので深夜保育も充実させてください。（30代 女性）
- 幼稚園を増やしてほしい。（30代 女性）
- 女性が働きやすい街づくりや教育を力入れてほしい。病後児保育をもっとつくって！（30代 女性）
- 子育て支援についてもう少し子育てしやすい環境をつくって欲しい。保育所を増やして欲しい。お金が無く、働きたいため子供を預けたいが現在働いている人じゃないと保育園に入れられないと言うのはおかしいと思う。（20代 女性）
- 子育て世代が多いのに保育園の整備や子育て支援が他の自治体に比べて遅れていると感じます。保育園は未満児だと、年度途中から入ることが難しく、復帰が年度途中になると大変困ります。市内の無認可保育所も少ない為、本当に入れる所がありません。未満児専用の保育所を作ったり、市立の保育所を作るのが難しいなら、私立の保育所や託児所などを誘致するなど対策を考えて欲しい。（30代 女性）
- 本当に保育所の待機児童をゼロにして、もっと保育料を下げて子育て面を充実して欲しい。保育所の質が悪く、待機児童があり、保育料が割高な子育てには向いていない市だと思っている。たくさん家が建ち、新しい人たちが増えているのに、市の体制がこれではだめだと思う。（30代 女性）
- 共働き家庭が多い中、まだまだ働きたくても働けない人が多い。教育関係を充実した街にして欲しい。保育園の待機児童解消や、親子で参加できるイベントを増やして欲しい。（30代 女性）
- 保育所のセキュリティが甘すぎです。預けていますがすごく不安です。働くお母さんが預けているのに平日に運動会、行事…納得いきません（30代 男性）

災害・防災等に関する意見

- 地盤が弱いこと、水害などが心配です。もしもの時に避難先で少しでも安心して過ごせるようにしてほしいです。（20代 女性）
- 災害のための避難場所が少ない（強い建物）と思います。家の近くにガスの炊き出しができる場所がありますが、避難できる建物からだいぶ離れたところなので、学校や公民館などの近くにそういう場所があるといいかなと思います。（30代 女性）
- 南海トラフ・養老―桑名―四日市断層帯地震等の巨大地震が想定され、すさまじい被害想定が報道されているにも拘らず、市民の認識は私も含めてはなはだ低いものと感じます。これらについては、被害想定 of 現状を知り、防災（減災）対策が重要であり、感じたことを記述してみます。①ハザードマップが全戸配布されているが、このマップをすぐに取り出せる家庭は何軒あるだろうか？また内容についての理解度も低いと思います。したがって、自治会単位による説明会の実施が必要だと思います。とくにその地域の弱点を知ることが大事で、地震では液状化・揺れ・地域の危険度・洪水においては 9.12 水害の浸水状況、浸水深、浸水想定 of 記載があり、これらを市民に周知徹底、認識させることがまず必要と思います。②瑞穂市の対策・対応として「暮らしの便利帳」が配布されていますが、ハザードマップと同様、仕舞い込んでいる家庭が多いと推察します。避難場所・避難所も回覧にて周知されているが、なかなか理解度は低く、とりあえず有事の時に必要な情報を記載した「防災カード」の新設配布を要望いたします。③犀川は何時も避難判断水位を超えるので不安な思いをしています。犀川・五六川を何とかしてほしいし、子の河川の現状をディスクローズしてほしい。また地震時の避難場所が近隣にはないし、花塚だけの市民が集まる場所（避難場所、ごみステーション、廃品回収所・・・）が欲しいので花塚地区内に公園の新設を要望いたします。④穂中・穂小の「防災マニュアル」を拝見したが、内容が貧弱と思います。町内の子供たちに、通学時の災害発生時対応について聞いても、具体的に教育されていないと感じました。「自分の命・体は自分で守る」釜石の奇跡を、もっともっと具体的活動によって教育する必要を感じました。⑤災害発生時に、市と各自治体が連絡（会話）できる連絡体制の確立を要請します。どういうアイテムがあるかわかりませんが無線通信できる機器の新設が必須と考えます。有事の時に被害の小さい地域は、市民同士で救助し合えるとのことで、市等からの公助は期待できないはず、であれば、市民と自治体との連携が必要であり、前述の機器はぜひ導入して頂きたいと要望いたします。以上 （60代 男性）
- 生津地区にはコミュニティーセンターがない。車が乗れない人は市民センターまでの習い事はなかなか行けないと思います。防災に対しても生津小学校だけで生津地区全体の避難場所は難しいと思います。（70代 女性）

まちづくり・地域・コミュニティなどに関する意見 I

- 瑞穂市が誕生して10年が経ちますが、多くの公共事業を行い施設を建てているイメージがあります。建てれば OK という考え方ではないでしょうか？施設に〇億円、維持管理に〇千万円とかかるのに、建設費にしか目が行ってなくて、何十年も行わなくてはいけない維持管理を無視している感が否めません。建設から維持まで考えた上での計画かどうかを含め、必要かを精査して公共事業を行って欲しいと思います。「そこに使うくらいなら…」と思う事業ないし施設はありますので、費用対効果を考えた政策の決定をお願いします。（20代 男性）
- 私は瑞穂市のアドバンテージは豊かな土壌だと思っています。それがいかされる街づくりを願っています。（50代 男性）
- 議員定数を減らすべきだ。（60代 男性）
- 行政は本当に必要なものは何かを見極めていろいろなもの（ハード面）の整備を行って欲しい。穂積地区と巣南地区の格差があるように思う、改善されるといい。市立図書館分館の隣には、陸上競技場が出来る予定だと聞いたが、本当に必要なのか。生津（穂積北中の東の方）にグラウンドも整備されている。陸上競技場を使っても、誰がどれくらいの頻度で使用するのかと考えてしまう。多くのお金が必要となるものである。よく考えて欲しい。大切な税金は有効に使用して欲しい。（将来を担う子供たちのためにクーラーやパソコン等の学校設備、施設を充実させたほうが良いと思う。）（40代 女性）
- ベッドタウンとしては優秀だと思うのでインフラをもう少し整備すれば人口を増やせるのではないかとと思う。（20代 男性）
- ベッドタウンとして若い世帯を多く受け入れ、住みよい街づくりを目指していることと思いますが、その前に何代も前からここに住まい、貢献してらした市民の皆さんが住みよい街になればと思います。（50代 女性）
- 瑞穂市にはスポーツや名物とか特産品がない。これらがあれば人々が来てくれると思いますし、市に活気が出るかも知れません。（60代 女性）
- 変化を好まない。リスクは避ける。瑞穂市はそんな体質であるように感じられます。（40代 男性）
- もう箱物はうんざりです。本当の意味で住みやすい（福祉でほかの市町村にはない魅力があることをお金をかけず）所があるといいですね。（60代 男性）
- 税金の使い方が納得できないので今後重点的に取り組んで欲しい。（40代 女性）
- 子どものいる家庭がとても多いので、将来性のある街だと思っています。（30代 女性）
- 財政が厳しいうえに少子高齢化で稼ぎは少なくなり、支出は増加することが明白です。20年先、30年先を予測し、真に安心安全なまちづくりに必要な行政を行っていただきたい。（70代 男性）
- 子どもたちが成人しても住み続けたい、または戻ってきたいと思う町になるようにと願います。（40代 女性）
- 財政事情のきびしい中、例えば本田コミュニティーセンターなど本当に必要ですか？ないよりもあった方がいいのですか？国からも支援を受けたのだと思いますが、国も膨大な借金を抱えているのです。国の財政も地方の財政も将来が心配です。（70代 男性）
- 田や畑が少なくなり、無秩序に住宅や道路ができていくように思う。都市計画をもっと考えるべきではないですか。（60代 女性）
- 越してきて数年経ちましたが仕事であまりいいけど、より住みやすく明るくよくしてもらいたいです。（20代 女性）

<次ページにつづく>

まちづくり・地域・コミュニティなどに関する意見 II

- 私の住む生津地区は地域活動が大変活発です。家族みなで楽しく参加しています。春の祭り、夏の納涼祭り、秋の運動会等。しかしながら新年度よりそういったふれあい活動への補助が大変少なくなると聞き、ものすごく残念に思っています。生津は自治会が5つしかないため各々が協力し合ってあのように大きな事を続けられています。巢南や穂積とは地区の事情がまったく違っているのに同じものさしで一方的に補助が減るとの事で、自治会内でも大きな不安、心配として取り上げられています。防災などを考えても地域でのつながりはより大切になっていくことは周知のことです。わざわざそのつながりをうすくするような施策には大きな疑問を抱いています。これまで通り、生津地区が結束していけるよう、市に支援していただきたいと希望します。市内で活動する、小グループに支援してもらえるような制度も希望します。実家の一宮市では市民活動を市が力強くバックアップしているようで羨ましいです。そのような施策も望みます。(40代 女性)
- 議員・職員の削減。議員、昔ながらの地域区割りの議員確立はやめて人口比による議員数にする(議員定数が多い)。職員、市役所に行くと余剰と思われる人員が目につく。もっと合理化を。(70代 男性)
- 市議とされる人々が年配者たちすぎる。もっと若い人材に変えるべきである。(30代 男性)
- 住みよい街づくりのために税金を安くしてほしいです。(40代 女性)
- 車の免許を返納したお年寄りが、人を頼らなくても病院や買い物に行ける交通網を整えることがとても重要だと思います。そのことによって若い人たちやお年寄り自身も働くことができ、町の活気やコミュニティにつながると思います。また、独居のお年寄りが利用されている安全サポート(?)を他府県に任せるのではなく、市が運営すれば雇用にもつながります。消防署や警察との連携も薄いため、システムとしては今の状態はよくないと思います。今瑞穂市で暮らしている人が、いくつになっても住みやすい環境を整えれば外からも人が集まってくれるようになると思います。外から人を呼び込むための「施設」より「環境」を整えることを重視して頂きたいです。(40代 女性)
- アパートには広報が入ってこないので届くようにして欲しい。瑞穂市の情報が分からないため。(20代 女性)

まちづくりに関する市民アンケート

問1～5まですべての質問にお答えください

I 瑞穂市のイメージについておたずねします。

問1 現在の瑞穂市についてどのようなイメージを持っていますか。
「よいイメージ」「わるいイメージ」それぞれ該当する番号（1～6）1つに○を付けてください。

よいイメージ
1. 交通の便がよい
2. 都市でも田舎でもなく住みやすい
3. 若者が多く活気がある
4. 川があり、自然が豊か
5. 人口が増加し将来性がある
6. その他（ ）

わるいイメージ
1. 街に魅力がない
2. 駅があるのに活気がない
3. 仕事や買い物に行く通過点
4. 保守的で閉鎖的
5. 税金や公共料金が高い
6. その他（ ）

Ⅱ 瑞穂市の将来像についておたずねします。

問2 将来瑞穂市がどのような街になればよいと思いますか。
該当する番号（1～7）2つ選んで○を付けてください。

1. 安全で安心して暮らせる街
2. 地震などの災害に強い街
3. 活気があり賑わいのある街
4. 医療や福祉が充実した街
5. 教育に力を入れる街
6. 緑があふれる自然豊かな街
7. その他（ ）

Ⅲ まちづくりの課題・問題についておたずねします。

問3 瑞穂市では「市民参画、協働のまちづくり」を目標として掲げ、市民と行政が一体となったまちづくりを目指しています。まちづくりを推進するため現在どのような課題や改善すべき点があると思われますか。

該当する番号（１～８）２つ選んで○を付けてください。

1. まちづくりに参加したいが、どのように参加してよいかわからない
2. 広報やホームページの情報は難しいので、もっと分かり易くしてほしい
3. 地元の活動には参加しているが、市政に参加する機会がないので、もっと参加できる機会をつくるべき
4. 地域とのつながりが希薄になっているので、地域のイベントにもっと関わるべき
5. 仕事が忙しいので、面倒なことはすべて行政が行うべき
6. 財政が厳しいので、無駄をなくすべき
7. 独居老人などの高齢者対策を優先すべき
8. その他（ ）

Ⅳ まちづくりへの参画方法についておたずねします。

問4 平成24年4月に施行された「瑞穂市まちづくり基本条例」を知っていますか。
該当する番号（1または2）に○を付けてください。

1. はい、知っています
2. いいえ、知りません

問4-1 「まちづくり基本条例」では、市民の意見が市政に反映できる機会を保障するため以下の1～6に掲げる方法が用意されています。

あなたが市政に参画する場合、どの方法なら参画しやすいですか。

該当する番号（1～6）2つ選んで○を付けてください。

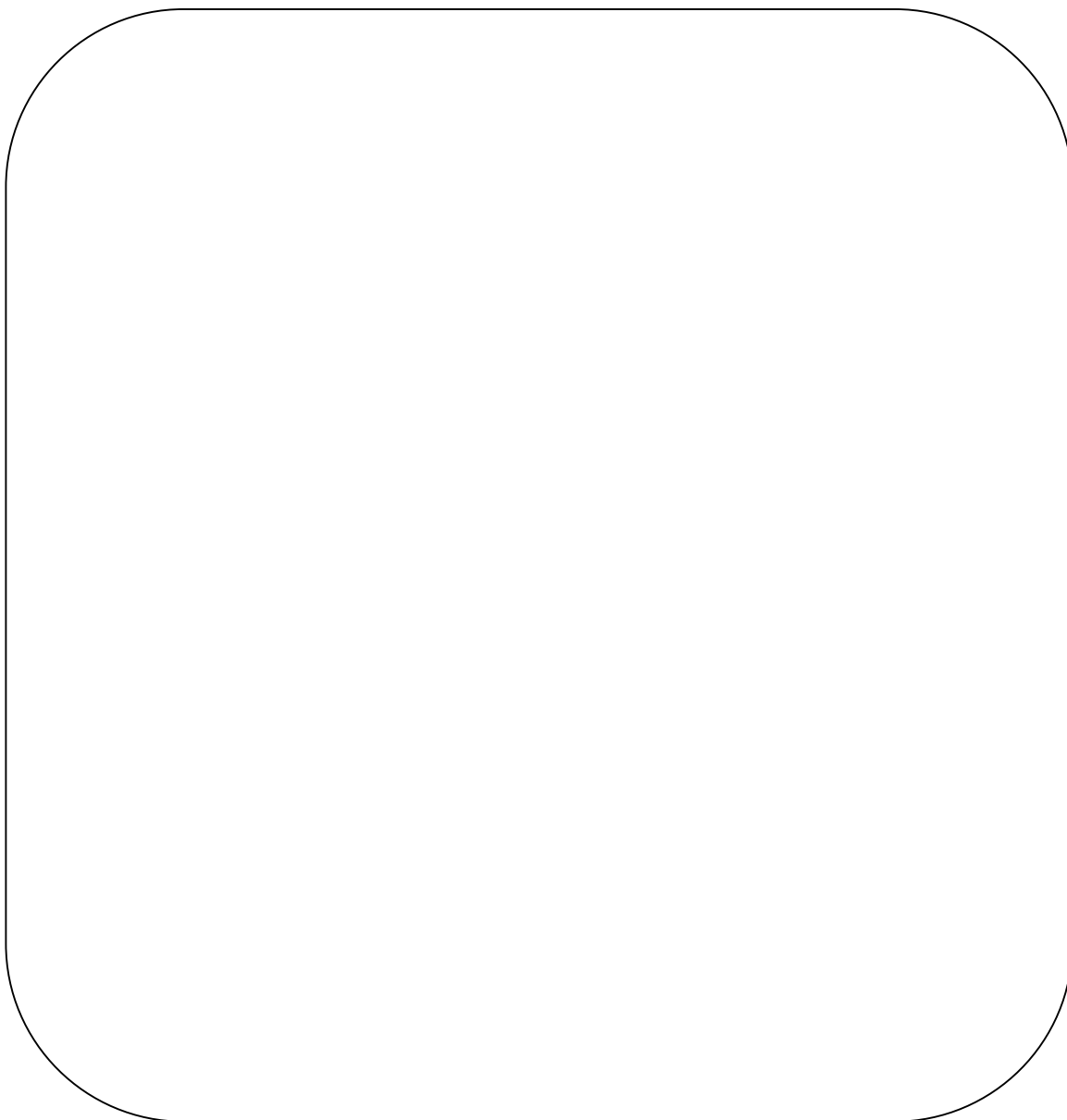
1. 審議会等への委員としての参画
2. 公聴会、懇談会等への参画
3. ワークショップその他一定の課題について集団で検討作業を行うことへの参画
4. パブリックコメント（素案を公表し、市民から出された意見や情報を考慮して決定する制度）その他意見聴取
5. アンケート調査等による意見聴取
6. その他（ ）

Ⅴ 今後重点的に行うべき取り組みについておたずねします。

問5 瑞穂市が今後重点的に行うべき取り組みについて、下記項目から特に重要と思われるものを該当する番号（1～10）から2つ選んで○を付けてください。

1. 道路、公園、公共施設などのインフラ整備
2. 地域コミュニティの育成支援
3. 医療、健康増進
4. 福祉、子育て支援
5. 環境、省エネ
6. 商工業の誘致支援
7. 教育支援
8. 文化、スポーツの振興
9. 行財政改革
10. その他（ ）

瑞穂市の将来についてや、まちづくりに関するご意見やご要望などがございましたら、ご自由に記入してください。



調査にご協力いただき、ありがとうございました。